



国立精神・神経医療研究センター  
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

#### 【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で  
軽度認知症、アルツハイマー型認知症と診断された方、特に疾患のない方

#### 【研究課題名】

ヒト血漿を用いた認知症を引き起こす血漿成分の解析

#### 【研究責任者】

有村 奈利子(東北大学薬学部薬理学分野)

#### 【本研究の目的及び意義】

認知症は、脳の働きが悪くなることで、記憶や考える力、判断する力、言葉を話す力などが徐々に低下していく病気です。現在、認知症を完全に治す方法は見つかっていません。そのため、早い段階で見つけて治療を始めることがとても大切とされています。本研究では、認知症の初期に変化する血液の成分を調べ、新しい治療薬の開発につなげることを目指しています。

#### 【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）

性別、年齢、診断名

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

#### 【研究期間】

提供後～2027年3月31日

#### 【試料・情報等扱う機関】

熊本大学 国際先端医学研究機構

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

藤田医科大学・オープンファシリティセンター

#### (問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail : biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)